

平成18年度補助金等報告書

公益法人名	社団法人 情報処理学会
-------	-------------

(1)年間収入(総収入－前期繰越金)		812,983	千円(A)	
(2)国からの補助金等の交付実績額				
	名称	補助金・委託費の別	交付官庁	金額
	汎用電子情報交換環境整備プログラム	委託費	経済産業省	1,202 千円
	合計			1,202 千円(B)
(3)補助金等の年収比率		0.15	%(B/A)	

平成18年度補助金等支出明細書

法人名	社団法人 情報処理学会	
1. 補助金等の名称(交付官庁)	汎用電子情報交換環境整備プログラム(経済産業省)	
2. 課題名	---	
3. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	当プログラムのグリフ集合の文字で、既存の符号化文字集合の国際標準(ISO/IEC 10646)に対応する符号化文字のないグリフについて、それを特定し、符号化文字として国際提案を行う。	
(2) 具体的な内容	<p>(1) フェーズ1によるグリフ集合(戸籍統一文字・住民基本台帳ネットワーク統一文字)とUCSとの対応関係については、昨年度までにBMPの範囲との対応関係の調査が行われていた。それをうけ、当委員会では、CJK統合漢字拡張B及び検討中のCJK統合漢字拡張C候補との対応関係の調査を行う。</p> <p>(2) 国際標準への追加提案が必要な文字については、提案の前提となる属性情報(部首・画数・IDS(漢字の構造を表す情報)など)の整理に着手する。</p> <p>(3) 当プログラムとは独立にSC2専門委員会からIRG(Ideographic Rapporteur Group: ISO/IEC JTC 1/SC 2/WG 2の下部組織で漢字の拡張提案作成を担当)に対して提案していたCJK統合漢字拡張C向けの漢字と、フェーズ1のグリフ集合との詳細な比較を行い、その結果に基づいてCJK統合漢字拡張C向けの国際提案を一部変更する。</p> <p>(参考) 変更した日本提案を含むCJK統合漢字拡張Cには、当プログラムのグリフ集合に対応する約400文字を含む結果となった。</p>	
4. 交付実績額	1,202,409円(A)	
5. 補助金等における管理費		
(1) 人件費	538,597円	
(2) 一般管理費	53,859円	
(3) その他の管理費		
	内容	金額
		円
		円
	合計	0
	合計	592,456円
6. 外部への支出		
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出		
	支出内容	支出先
		金額
		円
		円
		円
		円
	合計	0円(B)
(2) (1)以外の支出		
	支出内容	支出先
		金額
		円
	合計	円
7. その他		
	内容	金額
	事業費	609,953円
		円
	合計	609,953円
8. 再補助・再委託等の割合	0.0%(B/A)	